
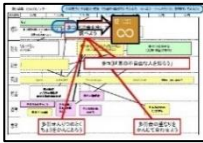















新学習指導要領の実施に向けた実践研究事業の取組

令和元・2年の2年間、西部管内の小学校、中学校と2つの中学校区に、「カリキュラム・マネジメント」や「はばたく群馬の指導プランⅡ」を活用した研究に取り組んでいただきました。各学校の特色のある取組の概要を以下に紹介させていただきます。

学校名	主な取組	成果
高崎市立六郷小学校 	<ul style="list-style-type: none"> ESD カレンダーの作成 SDG s を組み込んだ学習計画表の作成 授業中の「考えを深めるはたらきかけ」 	授業中に「考えを深めるはたらきかけ」を教師が意識的に行うことで、児童の既習事項や他教科で学んだことを使って考える力や友達の意見や資料からの情報を関連付けて自分の考えを再構築する力を向上させることができた。
藤岡市立北中学校区 	<ul style="list-style-type: none"> 単元構想シート つながりシート 3校合同研修推進委員会 3校合同教科部会 	3校合同の部会を定期的で開催することで、校区内の教職員が、授業改善への取組について共通理解、共通実践することができた。また、単元構想シートを活用し、単元のゴールを明確に示すことで、児童生徒のゴールのイメージも明確になり、学習意欲の向上につながった。
安中市立第一中学校 	<ul style="list-style-type: none"> 「カリキュラム・マネジメント班」「授業改善班」「学習改善班」の3つの部会の設置 一中スタンダードⅡ 	各教科部会で、それぞれの教科の「見方・考え方」や「表現力」「対話的な活動の在り方」などについて共通理解することで、計画的に単元計画の中に対話的な活動を設定する教職員が増えた。また、生徒の学習意欲の向上や学習内容の理解や定着につながった。
甘楽町立甘楽中学校区 	<ul style="list-style-type: none"> 小中合同による「生活班」「学習班」「思いやり班」の3つの部会の設置 生活・学習ガイドライン 	生活については「あたりまえ5ヶ条」、学習規律については「かんらのまなび」を活用し、校区内で共通理解、共通実践することにより、町内の小中学校すべてで児童生徒の生活態度が向上し、学習規律の定着につながった。

西部地区小中一貫外国語(英語)教育充実事業の取組

学校間の接続を円滑にし、小学校における学びを中学校につなげ、目標の実現を図るためには、小学校外国語科と中学校外国語科の連携を図ることが重要です。指導目標、内容などを比較し、学びの連続性を意識した指導を大切にしていきたいと思います。

学校名	主な取組	成果
高崎市立倉淵中学校区 	<ul style="list-style-type: none"> 発達段階に応じた Small Talk の実施 Small Talk の主な目的 ①既習表現を繰り返し使用し、定着を図る ②対話の続け方を獲得する 	小学校では、各学年での目指す姿を見える化し、組織的に Small Talk に取り組んだ。中学校では、小学校の活動を活用・発展させ、ある話題について得た情報をもとにやりとりするなど、複数の領域を統合した Small Talk に取り組んだ。小中で同じ活動をつなぎ、継続的に行うことで、児童生徒のコミュニケーション力を高めることができた。
藤岡市立小野中学校区 	<ul style="list-style-type: none"> Show & Tell 系統表の作成・活用 Show & Tell 伝えたいことや物について実物を見せながら話をする活動 	小学校からの「Show & Tell・パフォーマンステスト系統表」を作成したことにより、題材や場面設定等の配列が視覚的に分かりやすくなった。また、児童生徒が見せたいものや伝えたいことを、自分の思いや考えを交えて紹介する活動を積み重ねた結果、児童生徒が自分の考えなどを表現する力が向上した。
富岡市立北中学校区 	<ul style="list-style-type: none"> ルーブリック評価の実施 ルーブリック 児童生徒の学習到達状況を評価するための尺度を示したもの 	小学校と中学校で、パフォーマンス課題に対するルーブリック評価を取り入れた結果、児童生徒の達成度が明確になり、感覚に頼らない評価を行うことができた。また、ルーブリックを児童生徒とも共有することで、児童生徒が自らの到達度を自覚し、より高い次元を目指そうと意欲的に学ぶ姿勢につながった。
安中市立 松井田東中学校区 	<ul style="list-style-type: none"> 「パフォーマンステスト実施計画&評価(例)」の作成・活用 	小学3年生から中学3年生までの「パフォーマンステスト実施計画&評価(例)」を1枚のシートに作成し、各学年・各学期の目指すべき姿を共有しながら、4校の共通理解のもと、授業実践を行った。3小学校から進学した生徒が中学校で安心して授業に臨めるようになり、生徒の学習意欲が高まった。
下仁田町立 下仁田中学校区 	<ul style="list-style-type: none"> 英語教育における全体構想図の作成・活用 	中学校区で「英語を使って何ができるようになるか」という観点から小中で一貫した学習到達目標を設定し、授業実践を行った。これにより、児童生徒の目指す姿を中学校区の教職員で共有し、校種や学年の枠を超えて、児童生徒の学びをつないでいこうという意識が高まった。また、児童生徒も7年間の学びのつながりを意識することができた。

今年度までの学力向上に関する指定校の取組を来年度の各学校の取組に生かしていただければと思います。